

JR豊栄駅前通



JR豊栄駅前通

新潟日報

2/8
(木)

朝刊

新潟医療福祉大（新潟市北区）の学生らの意見を、JR豊栄駅前通商店街（同区）の活性化策に反映させようと、商店主と学生らが話し合いを進めている。学生からは、空き店舗を利用したコミュニティカフェの設置や会員制交流サイト（SNS）を通じた情報発信などを求める声が上がっている。

豊栄駅前通商店街振興組合とまちづくり農

栄、区が同大学の学生らに呼び掛け2015年夏から検討会を重ねている。検討会とは別に、学生有志ら約10人が15年春から「学生にとって魅力的な街に必要なものは何か」について定めている。

JR豊栄駅前通商店街の活性化について商店主らと意見交換する学生ら

12日、新潟市北区

新潟医福大生

若者集まる場所を

力ファーレの設置を求める理由について、学生らは「友達と集まって勉強やおしゃべりができる場が大学以外にない」と説明。学生だけでなく幅広い世代が利用できる施設にし、持続可能な運営ができるようにならうとする思いでいた。

豊栄駅前通商店街振興組合の横山正隆さんは「(1)は「学生や商店街だけでなく、幅広い区民の協力を得て、活性化を進めたい」と話していた。

店主らと協議

期的に議論。商店主らが集まる検討会で、学生が考案した活性化策を商店主に説明し、実現に向けて話し合いを重ねている。力ファーレ設置のほか、SNSを使った商店街の情報発信、区外からの誘客できるイベントも開催など活性化案が上がっている。新潟医療福祉大1年の深谷実里さん(19)は「商店主の方から意見をも

気軽におしゃべり

らうと、実現に近づくように思える」と話していた。

今後も検討を続け、今年夏には区自治協議会に事業を提案する予定だ。

豊栄駅前通商店街振興組合の横山正隆さんは「(1)は「学生や商店街だけでなく、幅広い区民の協力を得て、活性化を進めたい」と話していた。